



特別勘定（世界バランス型30AF）

四半期運用実績レポート

2013年1月～2013年3月

【利用する投資信託の委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSgA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSgAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2013年1月~2013年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2013年1月~2013年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、米国景気回復期待の高まりなどで外部環境が好転し、リスク選好の動きが強まったことに加え、日銀による金融緩和期待が円安・株高につながりました。一方、後半にはイタリアの政局不安やキプロス救済を巡る混乱が株価を下押しする場面もありました。

1月、日銀が金融政策決定会合で2%インフレ目標の導入を決めるなど、脱デフレ・金融緩和への期待が円安・株高の要因となりました。また、米中の景気回復期待などから世界的な株高となったことも、投資環境の好転につながりました。2月後半から3月にかけて、イタリアの政局不安やキプロス支援を巡る混乱など欧州債務不安が再燃し、一時的に株価が大きく下落する場面もありましたが、市場ではこうした問題が「世界景気の下押しなどにつながる」との見方は少なく、株価は高値圏での推移となりました。

業種別では、好業績銘柄の大幅上昇などから「ゴム製品」(前期末比+44.37%)の上昇率が最大となった一方、「ガラス・土石製品」(前期末比+4.88%)の上昇率が最小となりました。

【外国株式市場】

外国株式市場は、1月に揃って上昇した後、2月以降は各国が直面する課題の違いを反映した動きとなりました。米国主要指数の当四半期の騰落率は10%前後の上昇でしたが、ユーロ圏の主要国は2%台の上昇、香港市場は1.5%程の下落でした。

米国株式市場は、年初に懸案材料であった「財政の崖」や連邦債務上限の問題が回避されたことで急騰した後、マクロ経済や企業業績の良好な側面が評価され上昇基調を継続しました。2月下旬にはイタリアの選挙結果を受けた政局不安から短期的に調整しましたが、その後は金融当局の強い緩和姿勢を背景に3月にはダウ平均とS&P500指数が過去最高値を更新しました。

欧州株式市場では、英国市場は概ね米国市場と同様の動きとなりましたが、ユーロ圏の市場は2月に入るとイタリアとスペインの政局の不透明感から下落し、2月下旬のイタリア総選挙で安定多数を獲得した政党が無かったことから再度下落しました。しかし、2月末にドラギ欧州中央銀行(ECB)総裁が金融政策を通じて景気を下支えする姿勢を明確にすると米国市場と歩調を合わせ3月中旬まで上昇しました。ただし、3月後半のキプロス救済を巡る混乱では2月下旬から3月中旬の上昇の半分以上を失っています。

アジア株式市場では、豪州市場は米国や英国市場と似た動きとなりましたが、香港市場は中国での不動産価格抑制策導入などの影響で1月末以降は下落基調で推移しました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、10-12月期GDPが実質・名目ともに事前予想を下回るなど経済指標が軟調となったことに加え、期末にかけては、日銀の黒田新総裁が大胆な金融緩和を実施するとの期待が高まったことを背景に債券が大きく買われる展開となり、3月下旬には、日本10年国債利回りが2003年以後の低水準に達しました。日銀は、政策金利を据え置きしましたが、1月には2%の物価安定の目標を導入し、また同時に期限を定めない資産購入を導入を決定し、金融緩和姿勢を継続しました。日本10年国債利回りは前期末から▲0.240%低下の0.551%となりました。無担保コール翌日物は前期末から▲0.018%低下の0.058%となりました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、期前半、大型減税の失効や歳出削減が重なる「財政の崖」の回避や米債務上限に関する法案の可決を背景に債券が売られました。期後半は、雇用統計など堅調な経済指標を受けて、米国経済への回復期待が高まったことが債券の売り材料となりました。米国10年債利回りは前期末から+0.092%上昇の1.849%となりました。

欧州債券市場では、期前半、ECBが域内経済は段階的に回復するとの見方を示したことや資金供給オペの返済額を上回ったことを受けて、欧州債務問題に対する過度に悲観的な見方が後退したことを背景に独債が売られました。しかし、期後半には、イタリアを中心とした政治不安に対する懸念やキプロスへの金融支援に対する先行き不透明感から独債が買われる展開となりました。英国債券市場は、期後半、イタリアやキプロスをはじめとする欧州債務問題の不透明感から英国債が買われました。独10年国債利回りは前期末から▲0.027%低下の1.289%、英10年国債利回りは▲0.060%低下の1.768%となりました。

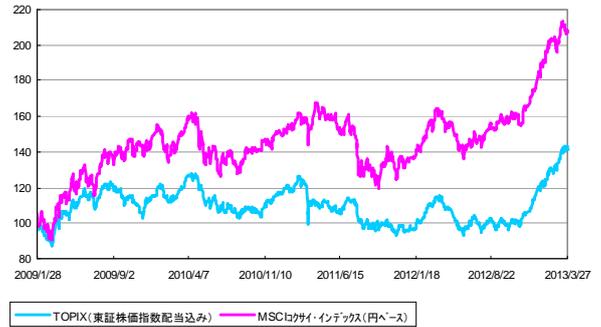
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、日本の新政権発足に伴い円高対策が積極的に推進されるとの思惑から、日本円が主要通貨全般に対して大幅に売られる展開となりました。期後半には、日銀総裁が黒田新総裁へと交代し、大胆な金融緩和を実施するとの期待が高まったことも円の売り材料となりました。円は対米ドルで前期末から7円47銭(8.63%)円安ドル高の1ドル=94円05銭となりました。

ユーロ/円相場は、期前半は円安基調となりました。期後半はイタリア総選挙の結果を背景とした欧州債務問題の再燃やキプロスに対する金融支援の先行き不透明感がユーロに対する売り圧力となり、対円でもみ合いの展開となりました。円は対ユーロで前期末から6円02銭(5.25%)円安ユーロ高の1ユーロ=120円73銭となりました。

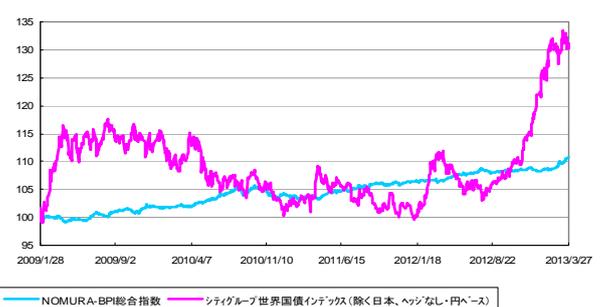
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)
出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険 (07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート (2013年1月～2013年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2013年3月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界バランス型30AF	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、内外の株式・公社債への分散投資を図り、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 基本配分比率は原則として以下の通りとします。 日本株式10% (運用の指標: TOPIX(東証株価指数配当込み))、 日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、 外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ・インデックス(円ベース))、 外国債券40% (運用の指標: シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)) * * 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の15% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA2 <適格機関投資家限定>	<ul style="list-style-type: none"> 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。 受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.4をご覧ください)

(注) 2013年2月28日より運用方針が変更となり、同時に運用関係費が引き下げとなりました(4、7ページをご覧ください)。

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年2月9日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率(%)		
2013年3月末	118.79	過去1ヶ月	1.95%
2013年2月末	116.52	過去3ヶ月	6.87%
2013年1月末	115.73	過去6ヶ月	14.25%
2012年12月末	111.15	過去1年	11.10%
2012年11月末	107.22	過去3年	8.41%
2012年10月末	104.81	設定来	18.79%

・実際のユニットプライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	世界バランス型30AF	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	673,248	97.1%
現預金・その他	20,009	2.9%
合計	693,257	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型

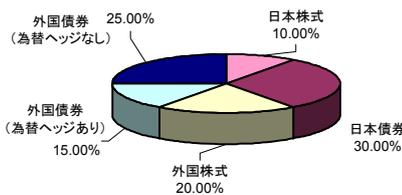
特別勘定の四半期運用実績レポート(2013年1月~2013年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の運用状況 [2013年3月末日現在]

■ファンドの特色

【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」*

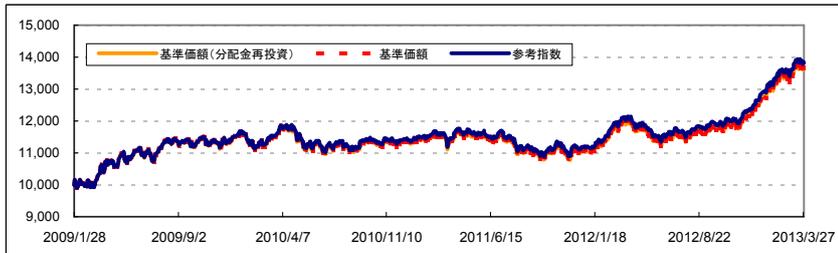
*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の15%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

(注)当投資信託の委託会社から運用方針の一部変更の提案を受け、検討の結果、現行の商品性を保持しながらより効率的な運用が実現できると判断し、2013年2月28日より運用方針に以下の内容が追加されました。また、同時に運用関係費が引き下げとなりました。(7ページをご覧ください)。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数(ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース)のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換する「トータル・リターン・スワップ取引」を利用する場合があります。

■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の設定日(2009年1月28日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.210%程度(税抜0.20%程度))控除後の値です。(信託報酬は2013年2月28日より変更(引下げ)となりました。変更前:年率0.315%程度(税抜0.30%程度))
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)25%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2013年3月29日	前月末	前月末比
基準価額	13,623 円	13,328 円	295 円
純資産総額(百万円)	673	674	▲1

	基準価額	日付
設定来高値	13,745 円	2013年3月21日
設定来安値	9,905 円	2009年2月3日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	10.16%
日本債券	30.00%	30.16%
外国株式	20.00%	20.10%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	14.85%
外国債券(為替ヘッジなし)	25.00%	24.95%
短期金融資産	0.00%	▲0.22%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.21%	7.73%	16.17%	14.28%	16.78%	36.22%
参考指数	2.24%	7.76%	16.26%	14.63%	17.96%	38.12%
差	▲0.03%	▲0.04%	▲0.10%	▲0.35%	▲1.19%	▲1.91%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものととして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

- 下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります。

■組入上位5カ国

国名	比率
日本	40.31%
アメリカ	27.70%
イギリス	4.88%
フランス	4.76%
ドイツ	4.24%

■組入上位5通貨

通貨	比率
円	55.17%
米ドル	21.45%
ユーロ	12.66%
ポンド	3.74%
加ドル	1.63%

- 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
 TEL 0120-933-399
 アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/life/

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2013年1月~2013年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご通知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

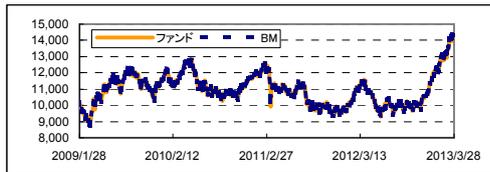
各マザーファンドの運用状況 [2013年3月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : TOPIX(東証株価指数配当込み)
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 238,836 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	7.03%	21.49%	41.80%	23.86%	13.22%	41.60%
ベンチマーク	6.99%	21.46%	41.77%	23.82%	13.05%	41.41%
差	0.04%	0.03%	0.03%	0.03%	0.16%	0.19%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,696 銘柄

銘柄	業種	ファンド	BM
1 トヨタ自動車	輸送用機器	4.25%	4.36%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.84%	2.91%
3 本田技研工業	輸送用機器	2.04%	2.09%
4 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.92%	1.97%
5 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.73%	1.77%
6 キヤノン	電気機器	1.44%	1.48%
7 ソフトバンク	情報・通信業	1.40%	1.44%
8 武田薬品工業	医薬品	1.34%	1.38%
9 日本たばこ産業	食料品	1.27%	1.30%
10 三菱地所	不動産業	1.22%	1.25%
合計		19.44%	19.96%

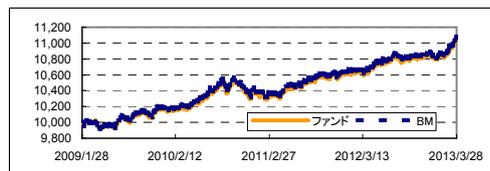
組入上位10業種

業種	ファンド	BM	差
1 電気機器	11.15%	11.44%	▲0.29%
2 輸送用機器	10.86%	11.15%	▲0.29%
3 銀行業	10.50%	10.77%	▲0.27%
4 情報・通信業	5.97%	6.13%	▲0.16%
5 化学	5.49%	5.63%	▲0.14%
6 医薬品	5.02%	5.15%	▲0.13%
7 機械	4.96%	5.09%	▲0.13%
8 卸売業	4.78%	4.90%	▲0.12%
9 小売業	4.31%	4.42%	▲0.11%
10 陸運業	4.30%	4.41%	▲0.11%
合計	67.34%	69.09%	▲1.75%

ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク(BM) : NOMURA-BPI総合指数
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 195,988 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	1.09%	2.22%	2.13%	3.74%	8.72%	10.42%
ベンチマーク	1.08%	2.19%	2.12%	3.72%	8.70%	10.71%
差	0.01%	0.03%	0.01%	0.02%	0.02%	▲0.29%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 869 銘柄

銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1 第106回利付国債	0.200%	2017年9月20日	1.43%	1.05%
2 第102回利付国債	0.300%	2016年12月20日	1.13%	0.69%
3 第320回利付国債	1.000%	2021年12月20日	1.07%	0.66%
4 第264回利付国債	1.500%	2014年9月20日	1.04%	0.49%
5 第107回利付国債	0.200%	2017年12月20日	1.02%	0.63%
6 第319回利付国債	1.100%	2021年12月20日	0.97%	0.35%
7 第267回利付国債	1.300%	2014年12月20日	0.94%	0.25%
8 第308回利付国債	1.300%	2020年6月20日	0.88%	0.30%
9 第100回利付国債	0.300%	2016年9月20日	0.87%	0.34%
10 第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	0.87%	0.54%
合計			10.24%	5.30%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

債券種別資産構成比率

債券種別	ファンド	BM	差
国債	79.31%	77.65%	1.66%
地方債	6.41%	7.23%	▲0.82%
政府保証債	4.21%	4.10%	0.11%
金融債	1.08%	1.12%	▲0.04%
事業債	7.52%	7.83%	▲0.31%
円建外債	0.16%	0.71%	▲0.55%
MBS債	1.35%	1.35%	▲0.01%
コール・その他	▲0.05%	0.00%	▲0.05%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.50%	0.50%	▲0.00%
平均クーポン	1.42%	1.37%	0.05%
平均残存期間	8.41	8.23	0.18
修正デュレーション	7.54	7.48	0.06

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命「AXA」 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型

特別勘定の四半期運用実績レポート(2013年1月~2013年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2013年3月末日現在]

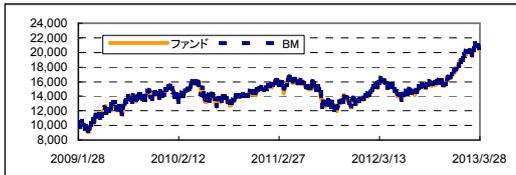
※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)

純資産総額: 163,849 百万円

※ 比率は、純資産総額比となります。



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	3.98%	16.87%	32.25%	29.48%	33.01%	106.15%
ベンチマーク	4.05%	16.97%	32.38%	29.74%	33.40%	107.48%
差	▲0.06%	▲0.10%	▲0.13%	▲0.25%	▲0.39%	▲1.33%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,291 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.59%	1.66%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.57%	1.64%
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.93%	0.97%
4	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.89%	0.93%
5	CHEVRON CORPORATION	アメリカ	エネルギー	0.89%	0.93%
6	IBM CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.87%	0.92%
7	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.86%	0.90%
8	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.83%	0.87%
9	PFIZER	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.81%	0.85%
10	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.80%	0.84%
合計				10.05%	10.52%

・ベンチマーク (BM) の比率は2013年3月28日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM
1	エネルギー	10.38%	10.86%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.16%	8.54%
3	銀行	7.42%	7.77%
4	資本財	7.06%	7.41%
5	食品・飲料・タバコ	6.81%	7.12%
6	ソフトウェア・サービス	6.02%	6.30%
7	素材	5.98%	6.24%
8	各種金融	4.87%	5.09%
9	保険	4.29%	4.49%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.85%	4.02%
合計		64.86%	67.84%

組入上位10カ国

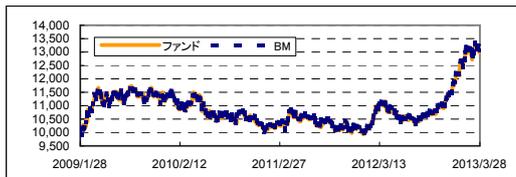
順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	56.43%	59.03%
2	イギリス	9.59%	10.03%
3	カナダ	4.76%	4.96%
4	フランス	4.03%	4.23%
5	オーストラリア	4.03%	4.21%
6	スイス	4.01%	4.19%
7	ドイツ	3.67%	3.84%
8	スウェーデン	1.44%	1.50%
9	香港	1.38%	1.44%
10	スペイン	1.20%	1.26%
合計		90.52%	94.67%

ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

純資産総額: 261,620 百万円

※ 比率は、純資産総額比となります。



・2009年1月28日を10,000として指数化しています。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.24%	6.68%	21.75%	17.75%	15.46%	29.93%
ベンチマーク	1.28%	6.72%	21.82%	17.83%	15.64%	30.29%
差	▲0.03%	▲0.04%	▲0.07%	▲0.08%	▲0.18%	▲0.36%

・設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 475 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	0.250%	2014年5月31日	1.14%	0.24%
2	アメリカ国債	米ドル	0.375%	2015年6月15日	0.97%	0.24%
3	アメリカ国債	米ドル	0.625%	2014年7月15日	0.75%	0.22%
4	アメリカ国債	米ドル	4.500%	2015年11月15日	0.72%	0.18%
5	アメリカ国債	米ドル	4.250%	2015年8月15日	0.71%	0.24%
6	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2015年6月30日	0.68%	0.28%
7	アメリカ国債	米ドル	4.125%	2015年5月15日	0.65%	0.25%
8	アメリカ国債	米ドル	1.000%	2014年5月15日	0.62%	0.22%
9	アメリカ国債	米ドル	4.750%	2017年8月15日	0.60%	0.13%
10	アメリカ国債	米ドル	1.875%	2014年4月30日	0.59%	0.25%
合計					7.43%	2.24%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

・ベンチマーク (BM) の比率は2013年3月28日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	41.10%	41.41%
2	フランス	9.93%	9.86%
3	イタリア	9.23%	9.20%
4	ドイツ	8.80%	8.91%
5	イギリス	7.40%	7.73%
6	スペイン	4.64%	4.58%
7	カナダ	2.72%	2.75%
8	オランダ	2.67%	2.61%
9	ベルギー	2.56%	2.66%
10	オーストラリア	1.75%	1.74%
合計		90.81%	91.45%

利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.60%	1.58%	0.02%
平均クーポン	3.62%	3.18%	0.43%
平均残存期間	7.71	7.56	0.16
修正デュレーション	6.09	6.03	0.06

・「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・上記の属性は2013年3月28日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命保険株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>

変額個人年金保険(07) 有期D2型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動にともなう投資リスクがあります。
- 特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- 運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- 特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して 5.0%	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間中および特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して 年率2.3%	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費 (注)	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用 投資信託の純資産額に対して 年率0.210%程度 (税抜:年率0.20%程度)*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

(注) 2013年2月28日より運用方針が変更となり、運用関係費は年率0.210%程度(税抜:0.200%程度)に変更(引下げ)となりました。(4ページをご覧ください。変更前:年率0.315%程度(税抜0.30%程度))

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

- ※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して 1.0%*	年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)有期D2型「いつでも夢を」は現在販売しておりません。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3
TEL 0120-933-399
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>